

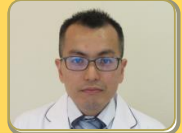


救急搬送について



整形外科

佐伯 辰彦 (さいきたつひこ)



2017年10月1日より、整形外科医として越谷誠和病院に勤務することになりました。よろしくお祈りします。

こんにちは。私は救急専門医でもあるため、「日本の救急受け入れシステム」についてお話しさせていただきます。

昭和53年から救急医療機関は、



初期：帰宅可能な軽症患者

二次：一般病棟入院になる様な中等症患者

三次：救命救急センター対応となる集中治療室に入院が必要な患者



の3段階に分けられています。しかし、このシステムの問題点は、医療する側が自分達の診療範囲を決めている事に問題があるといわれています。患者様の立場からすると自分が軽症なのか中等症なのか重症なのかわかりません。救急車を呼んだ場合、救急隊の隊員が重症度を判断して、病院を選定してくれる非常に頼りになる存在です。しかし、ここ10年で救急搬送数は30%増加しています。

平成27年のデータでは、救急車は5.2秒に1回の割合で出動し、国民の23人に1人が搬送されたこととなります。非常に救急隊の方の負担も大きくなっています。症状が悪化したり、判断に迷うときは119番に連絡し、症状が軽い場合や動かさないだけで緊急ではないときには公共の交通機関や民間の患者等搬送事業を利用させていただくことによって救えるはずだった命が増える可能性があります。救急車や救急医療は限りある資源です。みんなで上手に利用していきましょう。

◇ 屋内消火栓操法大会に出場しました ◇

平成29年10月26日(木)、越谷市立総合体育館で行われた「第27回屋内消火栓操法大会」に男子・女子チームが出場しました。この大会は、屋内消火設備の取扱方法の習得と操作技術の向上を図り、自衛消防力のさらなる強化を図ることが目的として開催されます。参加したメンバーは練習の成果を十分に発揮し、女子チームは3位に入賞しました。(ガーヤちゃん撮影)。

今回の経験を”仕事”や”もしもの時”に十分に活かしてくれると期待しています！



【男子チーム】



【女子チーム】

病院理念

地域の中核病院として、安全で質の良い医療を提供します。

基本方針

1. 私たちは、患者様の人権を尊重し、理解と同意のもと満足いただける医療を提供します。
2. 私たちは、他の医療福祉施設と連携を図り、地域住民の健康を確保するための医療を提供します。
3. 私たちは、医療の質を向上するために自己研鑽します。



当院は、敷地内(駐車場合む)禁煙です。ご理解、ご協力の程お願い致します。

～越谷市・出羽地区合同総合防災訓練に参加して～



平成29年10月15日、越谷市・出羽地区合同総合防災訓練が実施されました。当院のメンバーは外科医1名と看護師5名で、医師会と協力してトリアージ訓練に参加しました。当日はあいにくの雨で、グラウンドもぬかるんでいましたが、足元の悪い中多くの地域住民が参加されました。

トリアージとは、医療資源(医療スタッフや医薬品等)が制約される中で、一人でも多くの傷病者に対して最善の治療を行うため、傷病者の緊急度に応じて、搬送や治療の優先順位を決めることをいいます。限られた医療資源を最大限に活用しながら治療を行うため、医療機関等では診療前にトリアージを行ないます。救命の可能性が非常に低い方よりも、可能性の高い方から順に救護、搬送、治療にあたるべきであるという考え方です。

災害は忘れた頃にやって来ると言われています。私たちは中核病院としての役割を担う為に、これからも地域のイベントに参加していきたいと思っております。

(外来看護師 伊原暁子)



インフルエンザ予防接種のご案内

【予約】

受付窓口、電話(☎048 (966) 2711)

【費用】

- ① 越谷市に住所を有し、下記に該当する方
 - ・65歳以上
 - ・60歳以上65歳未満で身体障害者1級を持っている方 またそれと同等の障害を有し、医師の診断書のある方
1500円(税込)
 - ② 一般の方 (越谷市以外に住所を有する方、65未満の方)
 - 1回目 … 4,500円(税込)
 - 2回目 … 3,500円(税込)
- ※中学生以下のみ

【お申込み】

予防接種は完全予約制です。今年度はワクチン出荷遅れの影響の為、予約状況をご確認の上、本館1階受付窓口、もしくはお電話にてお申込みください。

入院中の方は、スタッフまでお声掛けください。

部

署

Vo.9

紹

介

～リハビリテーション科～

リハビリテーション科は、病気やけがにより日常生活で不自由を感じる方を主な対象として、個々の運動機能や日常生活における動作能力の回復を図ることを目的として、当院を利用される方を支援しています。

現在、理学療法士22名、作業療法士10名、言語聴覚士4名、受付事務2名の合計38名が在籍しています。そして各職種は、それぞれの視点から生活に戻るための手段を考えて対応をしています。

訪問リハビリテーションでは、介護保険を利用されている方の自宅に職員が訪問し、環境面についても考えながら、本人、家族が少しでも生活しやすい状況となるような支援もしています。

これからも、皆様の力を引き出すお手伝いを精一杯していきます。

理学療法士 浅香 直美



診療統計 平成29年7月～9月(月平均)

■ 外来延べ患者数	16,842名(5,614名)
■ 入院延べ患者数	15,986名(5,328名)
■ 一日平均外来患者数	224名

■ 救急搬入数	683名(227名)
■ 紹介患者数	673名(224名)
■ 手術件数	453件(151件)
■ 内視鏡件数	477件(159件)